

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社グループは2014年3月末をもって第118期を終了いたしましたので、ご挨拶を兼ねて決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別内容などについても併せてご報告申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。



平成26年6月
代表取締役社長 **いわたま 和**

「車到山前必有路」の信念で 全員の心と力を集結し、新たな飛躍へ挑戦。 お客様に「こちよさ」を提供します。

当期の我が国経済は、政府による経済政策、いわゆるアベノミクスの効果により超円高の解消や株価回復が進み、個人消費においても高額品などの持ち直しや消費増税に伴う駆け込み需要もあり、景気は緩やかな回復基調となったものの、一方では原材料・エネルギーコストの上昇や円安による物価上昇への懸念から節約志向も強く、依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況において当社グループでは、機能ソリューション事業では、競争激化や原材料価格高騰などがあったものの、電子部品分野がタッチパネル用フィルム需要の増加により大幅に改善しました。アパレル事業においては、円安や海外労務費高騰などによるコストアップ要因もあり厳しい経営環境のなか、事業構造改革に取り組みました。

その結果、第118期の売上高は142,425百万円(前期比7.6%増)、営業利益は4,375百万円(前期比155.8%増)、経常利益は5,058百万円(前期比117.3%増)、当期純利益は2,508百万円(前期は純損失1,161百万円)となりました。

新年度の見通しにつきましては、政府の景気対策の効果などによる経済成長が見込まれる一方、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や家計の実質所得減少による個人消費の低迷、円安による原材料価格の高騰など依然として不透明な状況で、当社グ

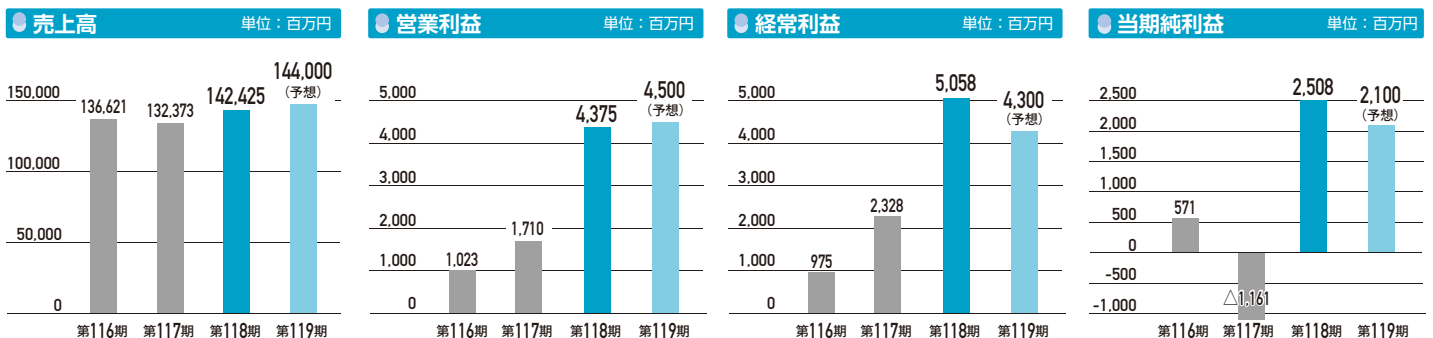
ループを取り巻く経営環境は予断を許さない状況が継続するものと予想されます。

このような環境のなか、機能ソリューション事業のプラスチックフィルム分野では、米国事業など収縮フィルムの海外強化とナイロンフィルムの収益改善を推進します。エンジニアリングプラスチック分野では、半導体関連など繊維技術活用製品の拡大を図ります。また、電子部品分野では、光学フィルムを含めたフィルム販売事業の早急な事業基盤構築と拡大を図ります。メディカル分野では、縫合補強材の米国進出並びに中国での生産基盤の確立を推進します。アパレル事業では、引き続き事業構造改革に取り組むとともに、強い基幹ブランドへの集中と海外・Web・ドラッグルートなどの成長チャネル戦略を強化してまいります。ライフクリエイト事業では、遊休資産を活用して不動産分野の収益力の向上を図ります。スポーツクラブ分野においては、積極的な多店舗展開により売上を拡大してまいります。

以上により、第119期は、売上高、営業利益とも微増を計画しておりますが、為替差益の減少影響などにより経常利益、純利益は減益の見込みです。

今後とも株主の皆さまには変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト



連結業績のご報告

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	73,454	73,503
固定資産	89,873	93,040
有形固定資産	65,304	68,763
無形固定資産	1,674	1,468
投資その他資産	22,894	22,808
資産合計	163,328	166,544
負債の部		
流動負債	36,086	32,502
固定負債	18,495	19,858
負債合計	54,582	52,360
純資産の部		
株主資本	109,233	110,289
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,064	14,064
利益剰余金	76,700	77,771
自己株式	△7,603	△7,614
その他の包括利益累計額	△1,623	2,067
新株予約権	268	312
少数株主持分	876	1,514
純資産合計	108,745	114,183
負債および純資産合計	163,328	166,544

流動資産 前期より48百万円増加

受取手形及び売掛金15億円の増加、たな卸資産14億円の減少などにより、全体では微増となりました。

固定資産 前期より31億円増加

機械装置及び運搬具15億円の増加、建設仮勘定11億円の増加などにより、全体では31億円の増加となりました。

流動負債 前期より35億円減少

支払手形及び買掛金25億円の増加、商業・ペーパーを含む短期借入金73億円の減少などにより、全体では35億円の減少となりました。

固定負債 前期より13億円増加

長期借入金16億円の増加などにより、全体では13億円の増加となりました。

純資産 前期より54億円増加

当期純利益の計上25億円、配当金の支払14億円、為替換算調整勘定21億円の増加、退職給付に係る調整累計額12億円の増加などにより、全体では54億円の増加となりました。

売上高 前期比7.6%増加

機能ソリューション事業で86億円の増収、アパレル事業で4億円の増収、ライフクリエイト事業で6億円の増収となり、全体では100億円の増収となりました。

営業利益 前期比155.8%増加

機能ソリューション事業で19億円の増益、アパレル事業で微増益、ライフクリエイト事業で3億円の増益となり、全体では26億円の増益となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー 前期より14億円増加

税引前当期純利益46億円、減価償却費62億円、たな卸資産の減少20億円などにより137億円の収入となり、前期比14億円の増加となりました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

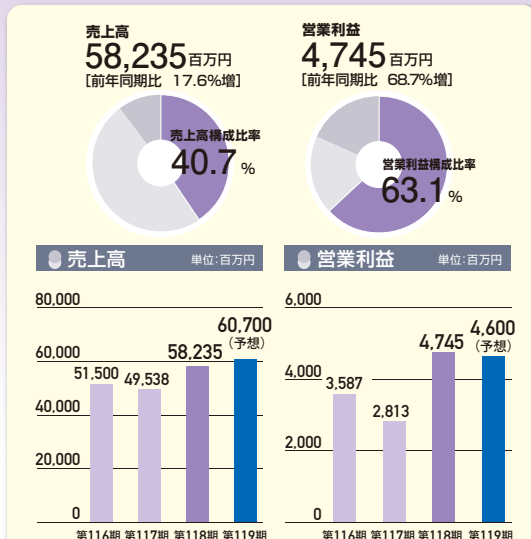
科目	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	132,373	142,425
売上総利益	33,360	35,418
販売費及び一般管理費	31,650	31,043
営業利益	1,710	4,375
営業外損益	618	683
経常利益	2,328	5,058
特別損益	△3,673	△405
税金等調整前当期純損益	△1,344	4,653
当期純損益	△1,161	2,508

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,343	13,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,564	△5,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,100	△8,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	224	651
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△97	687
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	89	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,070	6,757

セグメント概況 機能ソリューション事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

プラスチックフィルム分野は、原材料価格が高止まりするなか、飲料向け平板収縮フィルムおよび野菜向け防曇フィルムが堅調に推移したほか、消費増税前の駆け込みおよび切り替え需要により包装資材などが順調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、OA機器用部材での需要が

下げ止まり傾向であり、半導体関連部材が伸長しました。電子部材分野は、価格競争が激化するなか、パソコン向け透過型静電容量方式タッチパネルやスマートフォン向け半製品・フィルムが堅調に推移しました。メディカル分野は、欧州、北米、中国での販売が順調に推移しました。

〈プラスチックフィルム分野〉 〈エンジニアリングプラスチック分野〉



ペットボトルに使われている平板収縮フィルム



半導体製造用の超純水洗浄フィルター用資材

〈電子部材分野〉



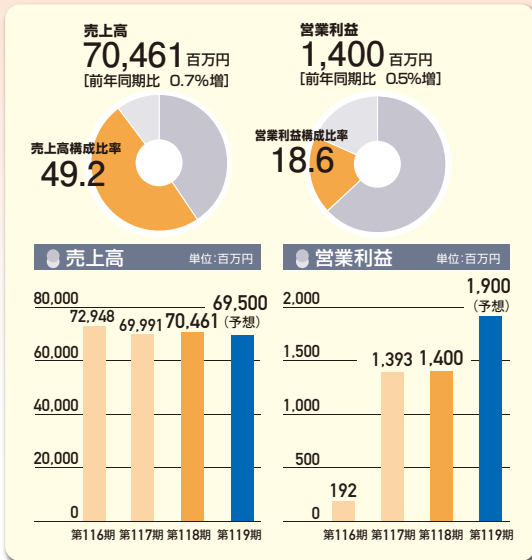
パソコン向け透過型静電容量方式タッチパネル

〈メディカル分野〉



海外での販売が順調な生体吸収性材料

セグメント概況 アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

インナーウェア分野では、円安や海外労務費高騰の影響を受けるなか、事業構造改革に取り組み、生産性向上による原価改善や固定費削減ならびに不採算店舗からの撤退等を推進し、収益性は改善しました。商品面では、紳士のベーシック商品の“新生YG”を発売し、婦人肌着でもミドルエイジ

向け“KIREILABO”を強化しました。一方、レッグウェア分野は、プレーンストッキングやレギパン（レギンスパンツ）が順調に推移しましたが、円安による原価アップを吸収できませんでした。また、アパレル事業全般で、年度末には消費増税による駆け込み需要も発生しました。

〈インナーウェア分野〉



絶妙なフィット感を実現させた「YG」



“着こち”を追求した40代女性の KIREILABO

〈レッグウェア分野〉

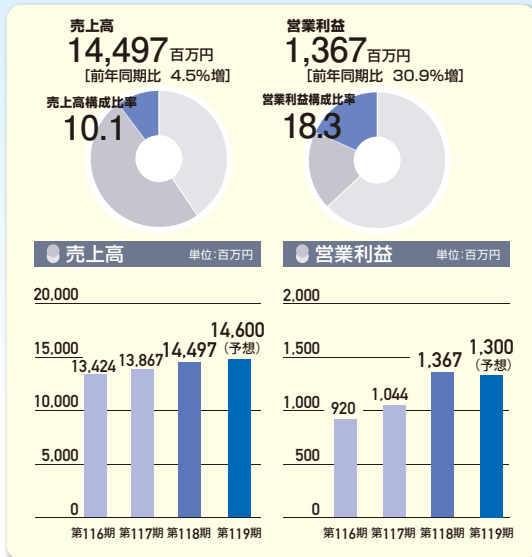


強く、やさしく、美しく。ストッキング SABRINA



安定した人気の「レギパン」

セグメント概況 ライフクリエイティブ事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連分野は、商業施設「グンゼタウンセンターつかしん」のリニューアル効果や消費増税前の駆け込み需要もあり、堅調に推移しました。スポーツクラブ分野は、新規会員獲得キャンペーン等により会員数を伸ばし

ました。緑化分野もエリア戦略の強化により順調に推移しました。また、中国で省エネビジネスを行うため、郡是節能設備貿易有限公司を設立しました。

〈不動産関連分野〉



イベントなどにぎわうグンゼタウンセンター「つかしん」

〈スポーツクラブ分野〉



全国17店舗で展開のグンゼスポーツクラブ

〈緑化分野〉



公共緑化樹木や、花卉の販売などが充実

〈エンジニアリング分野〉



省エネや設備保全のノウハウを海外に提案

「新中期経営計画「CAN20」(キャントゥエンティ)の概要について

過去10年間で、中期計画に3度取り組んできましたが、いずれも目標未達となりました。

多くの反省や課題をふまえ、新年度から、新中期経営計画「CAN20」をスタートさせました。

“わたしたちはやればできる”

という意味、必ずやり遂げるという決意とともにそれぞれのイニシャルに意味を込めています。

C

挑戦(Challenge)のC

A

結集(Aggregate)のA

N

新生(Newly-born)のN

過去の反省点

抜本的構造改革の遅れ
主力事業・主力商品の成熟化
成長エンジンの不在
新規事業開発の停滞
グローバル販売の停滞

今後の課題

マクロ的視点での事業ビジョン
提供価値の見直しと、コア・コンピタンスの徹底強化
メリハリをつけた経営資源配分による成長戦略の早期実行
当社に合った事業領域設定とグループシナジー効果の実現
海外市場における勝ちパターンの確立

2014年度～2020年度

(7年間/なおゴールとなる2020年は創業125年です)

経営
ビジョン

グンゼが持つ強みを更に強化し、グンゼにしかできない“ここちよさ”をお客さまに提供するグローバル企業として社会に貢献する。

経営
目標

人々のクオリティオブライフ(QOL)の向上に貢献する健康・医療機関関連分野を成長の核とするとともに、集中と結集によりそれぞれの分野で業界オンリーワンの地位を確立する。

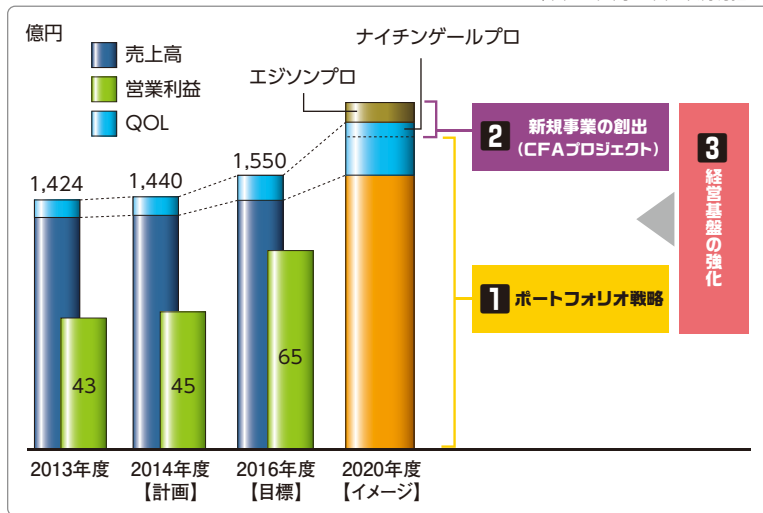
第1フェーズ 2014年度～2016年度

第2フェーズ 2017年度～2020年度

経営目標について

3つの戦略により「CAN20」を推進してまいります。

(単位：億円、単位未満切捨て)



第1フェーズ(第119期～第121期)計画

グループ連結

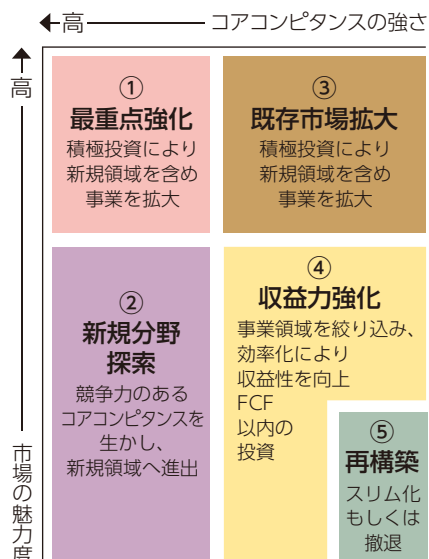
(単位：億円、単位未満切捨て)

項目	第118期 2013年度 実績	第121期 2016年度 計画	利益率	
			2013年度	2016年度
売上高	1,424	1,550	—	—
営業利益	43	65	3.1	4.2
経常利益	50	64	3.6	4.1
当期純利益	25	38	1.8	2.5

3つの基本戦略について

① ポートフォリオ戦略

多角化した事業を75の戦略的ビジネスユニット(SBU)に区分し、選択と集中によりメリハリをつけた経営資源を投入し、事業拡大をはかっていきます。



② 新規事業の創出 (CFAプロジェクト)

組織横断の取り組みにより、既存技術や設備を有効活用し、新規事業を効率的に創出するため、2つのプロジェクトを実行します。

① ナイチンゲールプロ

2014年4月、メディカル事業を中心に健康・医療及び関連事業を拡大するため、QOL研究所を設立しました。アパレル技術のメディカル衣料への拡大や、機能素材の医療用途開拓などを行います。

② エジソンプロ

各部門の保有技術をミックスし、顧客ニーズを解決するビジネスを創造します。

③ 経営基盤の強化

機能部門では、事業部門の成長戦略を支援するため4つのテーマに対して取り組みます。

① コア技術強化

- ・技術ドメインの明確化
- ・知的財産戦略強化
- ・プロフェッショナル人材育成

② グローバル対応

- ・現地マネジメントの確立 (中国事業統括会社設立)
- ・企業理念の継承
- ・グローバル人材育成
- ・リスクマネジメント強化

③ 無形資産強化

- ・コーポレートブランド価値の向上
- ・職場風土改革
- ・ダイバーシティ推進

④ 固定費削減

- ・間接業務の効率化
- ・資産効率の向上
- ・本社、営業部門のオフィス統合

事業トピックス

インナーウェア分野

この春、カラダをやさしく包み込み、絶妙なフィット感を実現したインナー、新生「YG」がリニューアルデビュー。俳優の西島秀俊さんをキャラクターとして起用。団塊ジュニアの男性を中心に着心地のよさを訴求していきます。

婦人インナーでは、更年期世代に起こる肌や、カラダの変化に対応した「キレイラボ」を充実。特に縫い目ゼロ(完全無縫製)の低刺激インナーが高く評価されています。



完全無縫製



縫い目のない
接着仕様

縫い目がないため、ウエストの段差や肌の赤みも起こりにくく心地よくフィットします。

レッグウェア分野

「サブリナ」ストッキングがリニューアルしました。キャラクターにはサブリナデビュー時のオードリー・ヘプバーンを再起用し、主力商品の活性化をはかります。



強く、やさしく、美しく。

SABRINA

メディカル分野

メディカル分野では、体内で分解、吸収される吸収性縫合補強材をはじめとした医療用材料を豊富にラインナップしています。

2014年1月、世界的な医療機器メーカーであるコヴィディエン社と、手術用自動縫合に用いる部材で業務提携をしました。これを足がかりに中国・アジア市場はもとより欧米市場を開拓し、メディカル事業の成長の要に位置づけています。



生体吸収性縫合補強材



生体吸収性縫合補強材を
組み合わせた手術用自動縫合器

太陽光発電開始

旧江原工場跡地、福島プラスチック工場屋根、空地、旧宇都宮工場グラウンドなど、全国3ヶ所で太陽光発電を開始しました。



兵庫県豊岡市



福島県本宮市



栃木県下野市

オフィスの統合

大阪エリアは6ヶ所を3ヶ所に、東京エリアは3ヶ所を2ヶ所に統合し、グループ連携の強化を図りました。



新しい大阪本社
(ハービス大阪)

ご案内

1 株主優待 1,000株以上 保有の株主 **年2回** 毎年9月末・3月末

9月末 (中間期)	自社製品	株式保有数と保有年数に応じて グッズ商品を贈呈		
株式保有年数	3年未満	3年以上5年未満	5年以上	
保有株数 1,000~2,999株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当	
3,000株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当	

長期保有で
さらに優遇!

相当金額分を
「ゲンゼオンラインストア」で使用できるクーポン券
または
「東日本大震災」復興支援の寄付【寄付先】あしなが育英会他

さらに
+
にも変更できます

通販カタログ「セレストイル」 **30%割引優待**



※カタログはイメージです

**3月末
(期末期)** 通販カタログ「セレストイル」 **30%割引優待**

**2 2014年以降の上場株式等の配当金に係る
源泉徴収税率について**

2014年1月1日以降に個人の株主さまがお支払を受け
る上場株式等の配当金には、原則として**20.315%***の
源泉徴収税率が適用されます。

※所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。なお、株主さ
まによっては異なる税率が適用される場合もございます。詳細につきま
しては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。

**3 少額投資非課税制度口座(NISA口座)に
おける配当金のお受取りについて**

新規に購入された株式をNISA口座で所有される場合、
配当金につき非課税の適用を受けるためには、口座管
理機関(証券会社等)を通じて配当金を受取る方式であ
る「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がござい
ます。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引
の証券会社等にお問い合わせ下さい。

取締役、監査役、執行役員、主な連結子会社 (平成26年6月25日現在)

取締役、監査役

代表取締役社長兼社長執行役員 (CEO兼COO)	児玉 和
代表取締役常務取締役兼常務執行役員 経営戦略部長 (CHO兼CCSRO)	服部 和徳
常務取締役常務執行役員 アパレルカンパニー長 (CMO兼CLO)	廣地 厚
取締役 (社外)	天野 勝介
取締役 (社外)	白井 文
取締役兼執行役員 QOL研究所長	鈴木 昌和
取締役兼執行役員 経営戦略部次長 (CFO兼CMAO兼CIO)	古川 知己
取締役兼執行役員 人事・総務部長 (CCO兼CHO代理)	赤瀬 康宏
取締役兼執行役員 繊維資材事業部長	岡 修也
取締役兼執行役員 プラスチックカンパニー長	佐口 敏康
監査役 (常勤)	下井 幸夫
監査役 (社外)	亀徳 忠正
監査役 (社外)	井上 圭吾
監査役	浜村 真

執行役員

執行役員 技術開発部長 (CTO)	友松 孝夫
執行役員 エンプラ事業部長	木村 克彦
執行役員 メディカル事業部長	森田 真一郎
執行役員 グンゼ開発株式会社 代表取締役社長	溝口 克彦
執行役員 グンゼスポーツ株式会社 代表取締役社長	佐藤 雅之
執行役員 電子部品事業部長	吉田 聡
執行役員 アパレルカンパニー次長	高尾 茂樹
執行役員 アパレルカンパニーインナーウエア事業本部次長	阿武 克也
執行役員 研究開発部長 (CRO)	及川 克彦

主な連結子会社

(国内)	(海外)
福島プラスチック(株)	Gunze Plastics&Engineering Corporation of America (米国)
グンゼ包装システム(株)	上海郡是新塑材有限公司 (中国)
グンゼ高分子(株)	上海郡是新包装有限公司 (中国)
東北グンゼ(株)	Gunze Electronics U.S.A.Corp. (米国)
九州グンゼ(株)	GGI Technology Ltd. (香港)
グンゼ開発(株)	郡宏光電股份有限公司 (台湾)
(株)つかしんタウンクリエイト	山東冠世針織有限公司 (中国)
グンゼスポーツ(株)	Gunze(Vietnam)Co.,Ltd. (ベトナム)
グンゼグリーン(株)	上海郡是通虹織維有限公司 (中国)

(注)当社は、チーフオフィサー制度を採用し、チーフオフィサーで構成する経営執行会議にて、経営重要事項の審議を行い、意思決定の迅速化を図っております。

CEO	Chief Executive Officer (最高経営責任者)
COO	Chief Operating Officer (最高執行責任者)
CHO	Chief Human-Resources Officer (人事担当)
CCSRO	Chief Corporate Social Responsibility Officer (CSR担当)
CMO	Chief Marketing Officer (マーケティング担当)
CLO	Chief Logistics Officer (物流担当)
CFO	Chief Financial Officer (財務担当)
CMAO	Chief Management & Accounting Officer (経営・管理担当)
CIO	Chief Information Officer (情報担当)
CCO	Chief Compliance Officer (コンプライアンス担当)
CTO	Chief Technical Officer (技術担当)
CRO	Chief Research & Development Officer (研究開発担当)

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

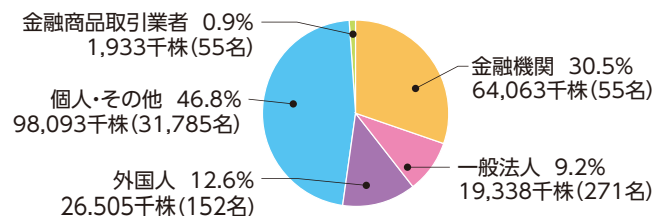
発行済株式総数 209,935,165株

◎自己株式 (平成25年4月1日から平成26年3月31日)

取得	88千株 (22百万円)
処分	27千株 (11百万円)
期末	18,312千株 (7,614百万円)

◎単元株式数：1,000株

株主数 32,318名



(注)円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

大株主一覧 (上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	26,188	13.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,131	3.19
株式会社京都銀行	5,875	3.06
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	5,017	2.61
日本興亜損害保険株式会社	4,380	2.28
株式会社GSIクレオス	4,205	2.19
第一生命保険株式会社	4,154	2.16
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,938	2.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,785	1.97
グンゼグループ従業員持株会	2,839	1.48

(注)当社は、自己株式18,312千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社の概況 (平成26年3月31日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	明治29年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	1,936名(単体) 7,629名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田二丁目5番25号 (ハービスOSAKAオフィスタワー) TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都中央区日本橋二丁目10番4号 TEL(03)3276-8710

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日(毎年6月下旬開催) 期末配当金 3月31日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京(第1部)
証券コード	3002
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料)